



光星・仲井監督

「全員が役割果たして」



12日2回戦 かく戦う

夏の子園で初戦を突破した本県代表の八光光星は、12日第3試合の2回戦で、49代表校の最後に登場する智弁学園（奈良）と激突する。光星の仲井宗基監督と智弁の小坂将商監督が9日、大阪府内で取材に応じ、試合の展望や注目選手について語った。

◇ 相手の印象は。仲井監督 地区大会では打線が活発で、監督が積極的な野球をする。勢いと緻密さもある素晴らしいチーム。小坂監督 初戦ではバットがものすごく振れていた。投手陣は、地区大会であまり投げていなかった後藤が復帰したほ

か、主戦山田や左の横山もいるのでしっかり研究したい。チームの状態は。仲井監督 選手は次戦に向け、切り替えができていて、心身ともに万全の状態です。小坂監督 体調不良の選手もいたのですが、いい日程を引いたと思う。チームは万全の仕上げ。早く試合がしたい。仲井監督 主将武岡と

中軸が機能すれば、おのずと有利な展開になると思いますが、全員が自分の役割を果たしてほしい。小坂監督 両校の1番打者（智弁塚本と光星武岡）と3番打者（智弁坂下と光星近藤）がどう動くか、鍵となる。仲井監督 ポイントは、仲井監督 失点がない。ある程度失点を覚悟しつつ、取れる点を取りたい。

小坂監督 四球と失策を多くした方が負ける。我慢強くやりたい。仲井監督 一戦必勝。どんな展開であらうか、自分たちの野球をやる。小坂監督 初戦なので、しっかり自分たちの野球をやりたい。（打のチームと言われているが）自信のある守備でリズムをつくり、序盤から点を取っていききたい。（大久保拓地）